

## 民生委員・児童委員は地域の身近な相談相手

### ～熊野町民生委員・児童委員協議会～



熊野町民生委員・児童委員協議会役員の皆さん

今回から、熊野町で活躍されている団体・グループを紹介します。  
第1回目は、熊野町民生委員・児童委員協議会（木村満朗会長）の役員の皆さんに、会の活動や課題についてお話を伺いました。

**Q** 熊野町民生委員・児童委員協議会の紹介をお願いします。

**A** 民生委員・児童委員は、常に住民の立場に立って、安心して暮らしやすい地域社会を作るため活

動しています。

現在、43人の民生委員・児童委員と2人の主任児童委員（以下「民生委員」）がいます。

**Q** 活動内容を詳しく教えてください。

**A** 町民の生活上の困り事を早期発見し、行政につないでいくことを目的として、ひとり暮らし高齢者等の見守り活動を行っています。年々地域のつながりが薄れていく中、高齢者や障がいのある方、子育てや介護をしている方などが、周囲に相談できず孤立してしまいうケースが増えています。地域の身近な相談相手である民生委員に気軽に相談いただければと思います。

地域の集会所等で開催するふれあいサロン（ミニデイホーム）では、高齢者の健康づくり仲間づくりのため、福祉委員と協力して運営しています。

地域の子どもたちが参加する三世交代交流会も各地で行っています。  
春と秋に行う小中学校でのあいさつ運動は、民生委員が学校の正門に立って児童生徒に声掛けを行います。また、小中学校訪問では、授業や掃除風景等を見学し、先生方との意見交換を行っています。



子どもたちが参加する三世交代交流会

**Q** 活動にあたっての課題などがあれば教えてください。

**A** 民生委員の役割は、住民の生活上の困り事を行

政につなぐことですが、コロナ禍で、きめ細かな見守り活動などが十分にできていません。また、様々な相談に民生委員がどこまで関わっていくべきか日々悩んでいます。  
民生委員自身も高齢化してきており、人材の確保も課題です。

**Q** 町への要望があれば、教えてください。

**A** 子どもの貧困や不登校、ひきこもり（8050問題）など新たな福祉課題が増えてきています。ひきこもり相談窓口の設置を町にお願いしたいですね。  
また近年、高齢者の運転免許返納者が増加し、買物や通院に困っている方が増えています。おでかけ号の増便など、公共交通網の早急な整備もお願いします。

取材／中島教宜  
光本一也